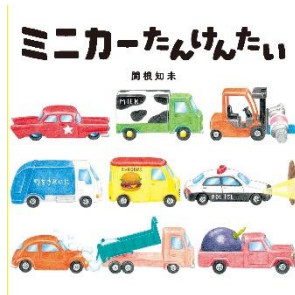
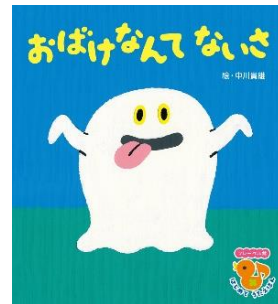




皆さん、絵本は好きですか？絵本には沢山の魅力が詰まっています。今年度は、絵本に関する書籍を活用しながら《絵本について》ちょこっとお伝えしていきたいと思っています。



9月の絵本紹介



『ミニカーたんけんたい』

関根知未作・アリス館

お家に沢山あります！とお聞きする事の多い『ミニカー』。この絵本には沢山のミニカーが登場し、室内を探検します。次はどこへ行くのかな？何をして遊ぶのかな？とワクワクしながら楽しむ事ができます。パトカー、ゴミ収集車、トラック…と人気の車を見て、どれが好き？なんて言い合うのも楽しいかもしれません。

『おばけなんてないさ』

中川貴雄絵・フレーベル館

おばけなんてないさ♪の歌の絵本バージョンです。せなけいこさんの歌絵本は、皆さんご存じかもしれませんが、こちらの絵本はハードカバータイプの絵本となります。絵のタッチもだいぶ違いますが、小さなお子さんにお勧めです。めくる事を楽しめる時期にも是非です。

【絵本の良さとは、本の持つ要素からいえば“あたたかみ”ということ、子どもの要求からいえば“安心感”ということです。私が特にこのことを強調するのは、日頃の経験から、子どもたちが非常に強くこのことを求めていると感じるのと、これからの社会に生きていく人間として、幼き日に、実生活でも本の中でも、たっぷりとあたたかいものにふれておくことが大事だと思うからです。】

～『えほんのせかい こどものせかい』松岡享子 文春文庫より～

子ども時代にとっても大切なこと、それは“安心感”ということには、私も同感です。あたたかいものにたっぷりと触れる安心感は、心の大きな土台になると思います。現代社会は、昔よりも不安要素が増えているようにも感じます。その中で“大丈夫”と思える安心感を、たくさん子どもに感じてほしいものです。その時に、絵本も大きな役割を持つと思います。絵本の内容は、いつも同じで変わりません。それは、子どもに安心感を与えたいと思います。“いつも同じ”はとても大切です。（大人は、沢山の経験があるので、変化（刺激）を好みがちですが、数年しか生きていない子どもにとっては、変化は不安なものです。）また、そんな絵本を大好きな大人と楽しむことで、心地良さ、あたたかさがたっぷり感じられるのだと思います。

